



平成29年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月13日

上場会社名 メディカル・データ・ビジョン株式会社
 コード番号 3902 URL <http://www.mdv.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 博之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門長 (氏名) 井上 太郎

TEL 03-5283-6911

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	2,109	21.8	171	38.6	168	37.9	75	0.2
28年12月期第3四半期	1,732		123		122		75	

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 75百万円 (0.2%) 28年12月期第3四半期 75百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	3.78	
28年12月期第3四半期	4.00	3.81

(注) 1. 当社は、平成28年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行い、また平成29年5月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

2. 平成29年12月期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	3,854	2,885	74.9
28年12月期	3,194	2,809	88.0

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 2,885百万円 28年12月期 2,809百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		0.00		0.00	0.00
29年12月期		0.00			
29年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600	36.8	542	25.9	540	29.9	311	74.9	16.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) MDVコンシューマー・ヘルス ケア株式会社、除外 社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期3Q	20,007,200 株	28年12月期	20,007,200 株
期末自己株式数	29年12月期3Q	640 株	28年12月期	640 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期3Q	20,006,560 株	28年12月期3Q	18,915,699 株

(注) 当社は、平成28年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行い、また平成29年5月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 事業等のリスクに関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に、企業業績や雇用環境の改善が見られました。一方、米国政策運営が不透明なことや、深刻な人手不足の影響が顕在化していることから、景気の先行きは引き続き不透明な状況が続いております。

当社グループの主たる事業領域である医療関連業界におきましては、社会保障・税の一体改革で描かれた平成37年(2025年)の医療・介護の将来像の実現に向けて、各都道府県において地域包括ケアシステム構築のため、地域の現状や課題、将来の医療需要の推計等を踏まえた地域医療構想が策定されました。さらに厚生労働省は7月に地域医療構想の達成に向け、公的医療機関等に対し「公的医療機関等2025年プラン」を今年度中に策定し、調整会議で議論をするよう要請しました。

このような事業環境のもと、医療機関向けのパッケージ販売を主としたデータネットワークサービスにおいては、DPC分析ベンチマークシステム「EVE」の導入数が799病院と、大規模なDPC実施病院のベンチマークデータを保有いたしております。また、病院向け経営支援システム「Medical Code」の導入数は246病院となりました。

さらに、患者自身が診療情報の一部を保管・閲覧できるWEBサービス「カルテコ」と患者が自由に支払い条件を設定できる医療費後払いサービス「CADA決済」を電子カルテと連携させ活用するサービスである「CADA-BOX」の導入数が3病院となりました。3病院の導入メリットの実績を基として、今後さらなる拡販へとつなげます。

データ利活用サービスにおいては、EBM(Evidence based medicine:根拠に基づいた医療)分野で、主として製薬会社向けに、当社が保有する大規模診療データベースを用いた調査・分析サービスが好調で、前年同四半期比で238,583千円増(34.3%増)となりました。医療関連業界においてもビッグデータの活用が注目されている中、大規模診療データベースは、平成29年9月末現在で、実患者数が全日本国民の7人に1人に相当する1,979万人となりました。

また、当第3四半期連結累計期間において、下記の通り、子会社の設立及び子会社株式の取得がございます。

1月には、歯科分野における著名な医師の手技や臨床知識の共有による医療の質向上を目的とした医師向け会員型サービスを行っている株式会社Doctorbookの全株式を取得いたしました。歯科分野から市場の大きい医科分野へ展開できる基盤を当社グループは有するとともに、株式会社Doctorbookの持つ優れた動画制作能力により、既存事業の営業手法の変革を進めております。

2月には、当社が保有する大規模診療データベースから、本質的な生活者ニーズを読み取り、それに即したOTC医薬品・H&BC製品を製造販売することを目的とし、MDVコンシューマー・ヘルスケア株式会社を設立いたしました。7月1日には女性が抱える乾燥性敏感肌に着目し開発した、高保湿プレミアムスキンケアシリーズである「KISOU」を上市いたしました。

6月には、株式会社コスメックスの全株式を取得いたしました。当社グループは、株式会社コスメックスが行っている、「少施設多症例治験」によるSMO業務、及びシステムを活用した効率的かつ充実した治験施設への支援を成長させる顧客基盤を有しております。さらに、大規模診療データベースを利活用した治験事業の実現により、当社グループの更なる成長と医療の質向上を加速させると判断しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,109,402千円(前年同四半期比21.8%増)となり、売上総利益は1,662,984千円(前年同四半期比17.1%増)となりました。

販売費及び一般管理費については、主に、業容拡大に伴う人員増加による給与手当や、本社増床による家賃等の増加、新規サービスにおける広告宣伝費の増加、子会社株式取得によるのれんの償却額の増加により、1,491,451千円(前年同四半期比15.1%増)となりました。その結果、営業利益が、171,533千円(前年同四半期比38.6%増)となりました。

営業外収益として受取利息等を計上し、営業外費用として株式交付費償却等を計上したことにより、経常利益が168,568千円(前年同四半期比37.9%増)となりました。

特別損益については、主に、減損損失を計上したことにより、税金等調整前四半期純利益は151,017千円(前年同四半期比23.8%増)となりました。

法人税、住民税及び事業税を80,046千円計上し、法人税等調整額を△4,625千円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は75,596千円(前年同四半期比0.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産残高は、前連結会計年度末と比べて660,251千円増加し、3,854,276千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べて185,476千円増加し、2,982,825千円となりました。これは主に、売掛金が299,270千円減少したものの、現金及び預金が326,847千円、商品が100,218千円増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて476,782千円増加し、871,053千円となりました。これは主に、のれんが333,910千円、有形固定資産が81,182千円、投資その他の資産が69,837千円増加したことによるものです。

繰延資産は、前連結会計年度末と比べて2,007千円減少し、397千円となりました。これは、株式交付費償却によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債残高は、前連結会計年度末と比べて584,655千円増加し、968,853千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べて334,430千円増加し、698,185千円となりました。これは主に、製薬会社向け年間サービスの契約増加に伴い前受収益が増えた結果、その他の流動負債が161,653千円、短期借入金が133,200千円増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて250,224千円増加し、270,668千円となりました。これは主に、長期借入金が233,500千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産残高は、前連結会計年度末と比べて75,596千円増加し、2,885,422千円となりました。これは利益剰余金が75,596千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年2月13日の「平成28年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

(4) 事業等のリスクに関する説明

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、及び、前事業年度の決算短信に記載した事業等のリスクについての重要な変更は以下のとおりであります。

なお、本項記載のうち将来に関する事項は、本書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

1. 買収(M&A)等の投資について

当社グループは、事業拡大の一環としてM&A等の投資を行っており、それに伴うのれんが計上されております。今後も新たにのれんが発生し、償却費用が増加する可能性があります。また、投資先の業績が当初計画に及ばず、将来の期間にわたりその状態が継続すると予想される場合には、減損処理等を行う必要が生じ、当社グループの業績及び財務状態に影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,959,348	2,286,196
売掛金	770,167	470,896
原材料	9,974	16,362
商品	—	100,218
その他	57,861	109,236
貸倒引当金	△2	△83
流動資産合計	2,797,349	2,982,825
固定資産		
有形固定資産	105,751	186,933
無形固定資産		
ソフトウェア	127,127	91,759
のれん	—	333,910
その他	—	27,220
無形固定資産合計	127,127	452,890
投資その他の資産	161,391	231,228
固定資産合計	394,270	871,053
繰延資産	2,405	397
資産合計	3,194,024	3,854,276
負債の部		
流動負債		
買掛金	39,618	112,579
未払法人税等	80,832	47,449
短期借入金	—	133,200
その他	243,303	404,956
流動負債合計	363,754	698,185
固定負債		
資産除去債務	18,681	33,027
長期借入金	—	233,500
その他	1,761	4,140
固定負債合計	20,443	270,668
負債合計	384,198	968,853
純資産の部		
株主資本		
資本金	981,156	981,156
資本剰余金	1,565,876	1,565,876
利益剰余金	263,104	338,700
自己株式	△311	△311
株主資本合計	2,809,826	2,885,422
純資産合計	2,809,826	2,885,422
負債純資産合計	3,194,024	3,854,276

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	1,732,208	2,109,402
売上原価	312,512	446,417
売上総利益	1,419,696	1,662,984
販売費及び一般管理費	1,295,975	1,491,451
営業利益	123,721	171,533
営業外収益		
受取利息	189	110
その他	336	308
営業外収益合計	526	419
営業外費用		
支払利息	20	1,375
株式交付費償却	2,007	2,007
営業外費用合計	2,027	3,383
経常利益	122,219	168,568
特別損失		
固定資産除却損	204	1,287
減損損失	—	16,263
特別損失合計	204	17,551
税金等調整前四半期純利益	122,015	151,017
法人税、住民税及び事業税	41,503	80,046
法人税等調整額	4,763	△4,625
法人税等合計	46,266	75,421
四半期純利益	75,749	75,596
親会社株主に帰属する四半期純利益	75,749	75,596

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	75,749	75,596
四半期包括利益	75,749	75,596
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	75,749	75,596

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間より、MDVコンシューマー・ヘルスケア株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。なお、MDVコンシューマー・ヘルスケア株式会社は当社の特定子会社に該当しております。

また、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、株式会社Doctorbookを株式取得により連結の範囲に含めております。さらに、第2四半期連結会計期間より、株式会社コスメックスを株式取得により連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

当社グループは、医療データネットワーク事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

当社グループは、医療データネットワーク事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。